

河陽新聞

熊本市南部地区市民の会
発行責任者 村田幸博

川尻校区の昔の写真を探しています

「川尻校区の歴史を検証する映像づくり」に取り組みます。



昨年2010年10月「熊本市今昔写真帖」が郷土出版社より出版され、左の写真は昭和10年代？の子供たちの活動風景として大きく掲載されている写真です。後の建物は川尻公会堂ではないかと思われます。

この写真は、川尻小学校資料室から見つかった一枚でガラスネガの状況で見つかりました。多分、柴田写真館撮影ではないかと考えられます。

川尻小学校の資料室から見つかった写真からこんな時代もありました。

第二次大戦中の食糧難の時代、学校内や周辺で食料となる野菜づくりをしている活動風景で、左手前の少年と木桶をかつぐ4名の男女の顔は鮮明に映し出されています。ご健在であれば70歳代の方と思われる。ご存知の方は南部市民の会・事務局へご連絡ください。他にも多くの写真が見つかりました。



この川尻電車は別名「チンチン電車」と呼ばれ「気圧4てん5キロ発車！」と、運転手さんの掛け声で動き出していた記憶が蘇ります。そこで今年、地域の歴史写真を後世への保存伝承する目的で、各家庭に残る写真を募り、デジタル保存及び地域の歴史文化の歩みの、記録映像づくりを行ないます。

昔の写真をお持ちの方へ昭和60年以前の写真を探しています。連絡先、南部市民の会 事務局 〒861/4114 熊本市野田1/1/10 電話(357)8383 中村 亮一

今回の、東日本大災害を機に私達の暮らす川尻校区の災害と歴史の検証をかえりみる

今年3月に発生した東日本大災害は未曾有の自然災害、さらには原子力発電崩壊という想定外の惨事となり、日本国民はもとより世界中より支援の輪と関心を高める出来事となりました。また今回の出来事は、多くの教訓と共に、安全神話の見直しを知らしめる事となりました。

先般、6月14日熊本市万年青(おもと)会館で開催された川尻校区自治協議会総会の挨拶では、荒金鍊一会長(川尻校区自治会連合会会長)より手製の資料を基に、過去の地震・津波・洪水等の歴史災害を紹介されると共に、災害への備えとして町内ごと、また、校区で取り組む必要性を訴えられました。そこで、川尻校区でも歴史を振り返り、過去の災害の検証を考えてみました。

「津波」に関しては今から220年前の江戸時代に「長崎大変、肥後迷惑」と呼ばれた雲仙眉岳崩落での有明海の津波で1万5千人が亡くなられています。これは、有明海沿岸地域の荒玉や河内

天水・飽田・天明地域で一万人が亡くなり、今回の東日本災害での風景が想定されます。川尻と近隣する旧天明町では、津波というより「潮害」と呼ばれる台風と大潮の満潮が重なり大きな災害が大正2年と昭和2年に起り、有明海の堤防が崩壊し、160名の死者と家や家畜に大きな被害を受け、復興するのに血や涙の出る経緯をされています。近年、不知火松合地区で起こった台風18号災害の数百倍大きな災害です。「地震」に関しては、明治22年、金峯山周辺で起こった直下型地震はMマグニチュード6.3、死者20名、数百の家や熊本城も被害が報告されています。



当地での災害記録では、火事と水害が常に最大のテーマとして考えられて来ましたが、水害(洪水)に関しては626水害が蘇りますが、川尻校区にも大きな被害を与え、加勢川の改修が施されるまで洪水常習地でもありました。「火事」に対して当地区は消防団活動が活発で、西山春幸団長を中心に予防や訓練も行われ、安全・安心な町への取り組みがなされ、川尻校区では近年は大きな災害は発生していない状況です。

川尻校区内の紹介

私たちは「障害を持つ子ども達の親の会はぐはぐ」といいます。障害児の親ならではの悩み・ストレスを皆で話し解決、または心を軽くしようと立ち上げた会です。まだまだ話しているだけの会ですが少しでも気持ちが楽になればと、たくさん話しています。

就学・日常生活・社会生活など、色々な疑問や悩みがあると思います。同じ子を持つ仲間や先輩と話し心安らぐ共有の時間に参加しませんか？とても楽しい会です。興味ある方は、ぜひ一度来て見てください。左記の日程で毎月開いています。

- 日時↓毎月第二日曜日 午前10時〜12時
- 場所 川尻まちの駅 【川尻駅前交差点】
- 対象 城南中学校区の障害児の親対象 ※お子様の年齢に制限はありません。
- 連絡先 川尻まちの駅 電話358-1110 【※毎月第二日曜 午前10時〜12時まで 連絡可能です。】 担当 楠元由紀子 西崎 和代

新聞づくりのスタッフを探しています。

南部地区市民の会では「一万人で描く一枚の絵」シリーズを追い求めています。これは、川尻校区は人口約一万人で、一人ひとりの住民が求める町づくりの将来構想づくりです。最終のテーマは、暮らしてみたい町、川尻校区が安全で安心して誇れる町をめざすシリーズです。今年のテーマは、写真を募って歴史を保存すること、もう一つは自然環境の保全をめざした活動、を考えています。宜しくお願い致します